

平成29年度 第2学年 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した課題と工夫	課題を受けた今後の改善策
国語	【課題】 ★順序を整理し、簡単な文章の構成を考えて、書く力を身に付けさせたい。 ・接続詞を使って、簡単な文や文章を書けるようにする。 ★書かれている事柄の場面の様子や、事柄の順序に気付ける力を身に付けさせたい。 ・叙述をもとに、登場人物の気持ちや場面の様子の読み取れるようにする。 ・叙述にでてくる接続詞や時を表す語をもとに、事柄の流れや順序に気付いて読めるようにする。 【工夫】 ☆ことばの吟味 ・叙述をもとに事柄の順序や場面の様子を考えられるよう、教科書の本文中から大事な語句を探させ、○をつけさせたり線を引かせたりした。 ・作文等を書く際には、「まず」「はじめに」「～だから」といった接続詞を必ず使うように指導した。	A 指導目標の明確化と学習の見通し ・新しい学習事項に取り組む前に、必ず既習事項の確認を繰り返す行うことで、内容の定着を図りたい。 D 補助資料の活用 ・登場人物の挿絵に吹き出しを作り、場面ごとに絵を掲示することで、視覚的にも事柄の順序を分かりやすくするとともに、登場人物の感情の変化に気付けるようにしていく。
算数	【課題】 ★具体物を用いた活動を通して、長さや体積などの単位と測定についての技能を理解させたい。 ・ものさしや、水のかさを量るますを用いて、実際に長さやかさを正しく計測できるようにする。 ★2位数の加法及びその逆の減法を正確に解く力を身に付けさせたい。 ・繰り上がりや繰り下がりのある計算の仕方を定着させる。 【工夫】 ☆補助資料の活用 ・長さではものさしを、水のかさでは1L ますや1mL ますを用いて、実際に児童に長さや水のかさの計測をさせた。 ☆教材の開発と工夫 ・10のまとまりや100のまとまりを、10円や100円などの算数教材に置き換え、実生活の体験から繰り上がりや繰り下がりについて考えさせた。	E 相互の学び合い ・ペアやグループ間で自分の考えを発表させることで、自分の考えの定着を図るとともに、互いの良い考えを学び合えるようにしていく。 F 評価 ・毎時間、その学習内容の適応問題を行うことで、学習内容が定着しているかを見とり、必要に応じて適切な支援をしていく。
生活	【課題】 ★自分のよさや可能性に気づき、意欲や自信をもつことによって、前向きに生活しようという意欲をもたせたい。 ・学習活動の中で、自然だけでなく人や社会との関わりをもたせ、それらから自分らしさや自分のよさ、可能性に気付かせる。 【工夫】 ☆ことばの吟味 ・学習の中で、児童のできたことや考えたこと、気付いたことに対して認める声掛けをし、児童の自己肯定感が高まるようにした。	F 評価 ・友人や担任からだけでなく、地域や保護者の方々から評価される場を設け、成功体験を積ませることで、自分への自信がもてるようにする。
体育	【課題】 ★運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにさせたい。 ・多様な運動遊びや競争を通して、運動することが楽しいことを体感的に味わい、勝敗の結果を受け入れて、楽しんで活動させる。 【工夫】 ☆評価 ・評価カードに運動が出来たら色を塗れるようにしたことで、自分の得意な運動や苦手な運動を理解し、苦手なところを進んで克服できるようにした。	E 相互の学び合い ・ペアやグループの中で、出来るところを見せ合ったり、苦手なところを助言してもらったりする活動を行うことで、互いの良さを認め合えるようにしていく。
今年度の成果と課題 【成果】 【課題】		

